

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名: 蒲郡市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
株式会社かねー自動車	形原地区支線バス 左回りルートA (ユトリーナ経由なし)	初めての事業のため前回評価なし	A 計画通り事業は適切に実施できている。	B 数値目標は便当たり3人で設定。実績は1.8人/便であり、他のルートの中で最も悪い。	当該ルートは、朝一番早い便。鉄道との接続利用による使い方をPR対応していく。
株式会社かねー自動車	形原地区支線バス 左回りルートB (ユトリーナ経由あり)	同上	A 同上	A 数値目標は便当たり3人で設定。実績は3.3人/便であり、目標達成。	左ルートの2・3便で、利用の多い時間帯。事業を継続し、利用促進を進める。
株式会社かねー自動車	形原地区支線バス 右回りルート	同上	A 同上	A 数値目標は便当たり3人で設定。実績は3.0人/便であり、目標達成。	右ルートの1・2便は利用の多い時間帯、3便は全体の最終便で最も利用が悪い(1.6人/便)。ダイヤの調整が必要か地域協議を行うとともに、利用促進を進める。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成 年 月 日

協議会名:	蒲郡市地域公共交通会議
-------	-------------

評価対象事業名:	地域内フィーダー系統
----------	------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>第四次蒲郡市総合計画においてあげられた「子どもや高齢者らが安心して移動することのできる公共交通体系の確立」、「地域で創り、守り、育てあげる持続性の高い公共交通体系の形成」を目指し、公共交通体系を一体的に改善することを目標とした地域公共交通総合連携計画を策定している。</p> <p>計画の中で位置付ける取り組みとして、「①鉄道を中心とした交通ネットワーク網の維持確保と交通空白地の解消」、「②交通空白地解消のための実験的取組等の実施」、「③地域資源の活用・関係者間の連携強化による事業推進」、「④公共交通の利用を促す働きかけ活動の実施」を想定している。</p> <p>これら取り組みを通して、①の交通ネットワーク網の維持確保を目指し、地域公共確保維持改善事業の支援を受けて、「交通空白地解消のための形原支線バス(フィーダー)」の運行を進める。</p>
-----------------------------	--

蒲郡市地域公共交通協議会

平成25年3月1日設置

フィーダー系統

平成27年6月26日確保維持計画策定

①協議会が目指す方向性(Plan)

○蒲郡市は三河湾の海岸線に沿って東西に長く、平野を取り巻くように山地が分布しており、平野部を走るJR東海道本線、名鉄西尾・蒲郡線を軸として、まとまった市街地が形成されており、そこへ通じる交通機関として、路線バス、タクシーなどがある。しかし市の北部、特に山間部を始めとする平野部以外には公共交通空白地域が広がっており、この空白地域の早期解消が必要となっている。

○モータリゼーションの進展に伴い、市内の公共交通利用者は減少し、公共交通事業者の経営が圧迫され、公共交通事業者に任せているだけでは、地域が必要とする公共交通サービスを確保することが難しくなっており、このため蒲郡市では、交通サービス維持のため交通事業者に対し支援を行っているが利用は伸びず、バス路線の廃止、名鉄西尾・蒲郡線の存続問題と地域の公共交通体系に綻びがでてきている。

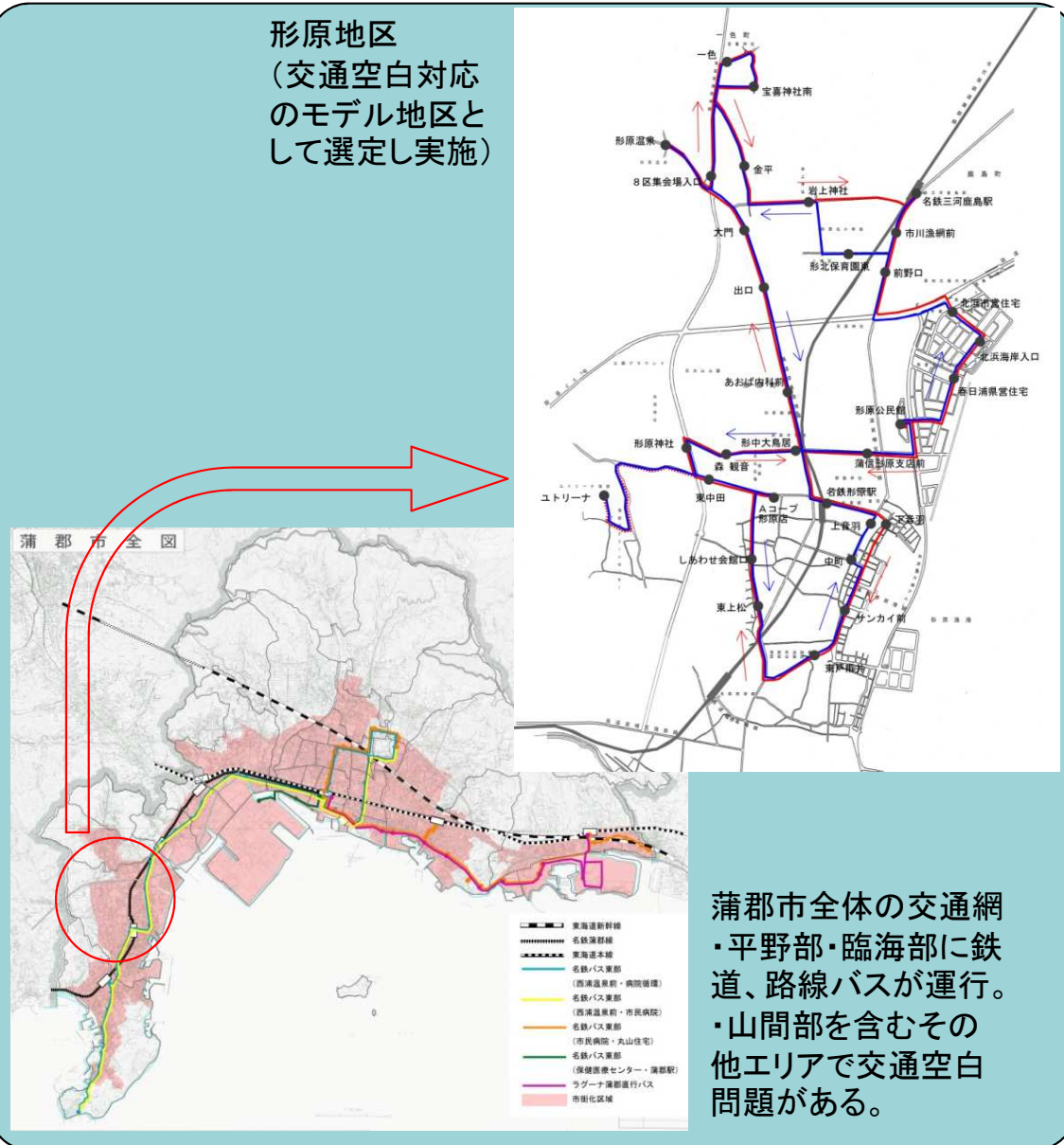
○こうした背景のもとで第四次蒲郡市総合計画において「子どもや高齢者らが安心して移動することのできる公共交通体系の確立」、「地域で創り、守り、育てあげる持続性の高い公共交通体系の形成」を目指し、公共交通体系を一体的に改善することを目標とした地域公共交通総合連携計画を平成26年3月に策定した。

○交通空白地解消のための地域内フィーダー路線の構築

「地域公共交通総合連携計画」において、交通空白地解消のため、中学校区単位程度で「地域協議組織」が設置された地域については、当該組織での協議を通してフィーダー路線構築を行うこととしていた。これにより、蒲郡市の南西部に位置する「形原地区」において、地域協議組織が設置され、地域主導でのフィーダー路線の事業構築が行われた。

○こうした取組みにより、平成27年4月2日より「形原地区支線バス」の実証運行が開始され、平成27年7月より蒲郡市地域公共交通会議での協議を経て、地域内フィーダー系統として位置付け、本格的に試験運行を開始するもの。

形原地区
(交通空白対応のモデル地区として選定し実施)



②地域公共交通に関する具体的取り組み及びそのプロセス(Do)

これまでの取組内容

◎地域公共交通会議の設置から地域公共交通連携計画の策定まで

- ・平成25年3月に地域公共交通会議を設置し、公共交通のネットワーク網の再編について検討を開始する。
- ・市民向けアンケート調査、既存路線バス利用者アンケート調査、公共交通について語る会(ワークショップ)等により、幅広く市民の意見を確認した。
- ・延べ7回にわたる協議を重ね、地域公共交通総合連携計画を策定する。

◎交通空白地対象のためのモデル地区での事業化(試験運行の開始)

- ・地域公共交通総合連携計画の策定をふまえ、交通空白地対応に取り組みたいと考える地域を募集。
- ・平成26年5月に、地域からの申し出により、「形原地区公共交通協議会」が設置され、支線バスの導入に向けた検討が開始される。
- ・地域主導の協議会が月1回程度の頻度で開催され、支線バスの事業計画案が策定される。当該計画を市交通会議に報告され事業化が承認。
- ・平成27年4月2日に形原地区支線バスの実証運行が開始される。
- ・平成27年6月の時点で、事業継続すべきことを市交通会議にて承認し、7月より試験運行に切り替える。

これまでの取組経過

年月	取組内容
平成25年3月	○蒲郡市地域公共交通会議を設置
平成25年3月	○第1回交通会議を開催「地域公共調査事業」の着手を確認
平成25年9-10月	○市民6000人に対するアンケート調査の実施(有効回答2360人)
平成25年10月	○路線バスの利用者アンケート調査の実施(有効回答数365人)
平成25年10月	○「公共交通について語る会」の実施(7箇所・延べ80人から意見聴取)
平成26年2月	○地域公共交通会議での協議を経て「地域公共交通総合連携計画素案」を作成
平成26年2-3月	○「地域公共交通総合連携計画素案」に対するパブリックコメントの実施
平成26年3月	○「地域公共交通総合連携計画」を策定(平成26年3月第7回地域公共交通会議にて承認)
平成26年5月	○交通空白地域のモデル地区「形原地区公共交通協議会」の設置(フィーダー系統の検討開始)
平成26年6月	○路線バスの見直しを協議する「地域バス協議会」の設置(協議開始)
平成26年9月	○形原地区公共交通支線バス試験運行計画案の策定
平成26年11月	○形原地区支線バスの運行事業者の選定
平成27年	○形原地区支線バスの運行内容の広報実施・愛称・ロゴの募集・選定等実施
平成27年4月2日	○形原地区支線バスの実証運行開始(出発式の開催)
平成27年6月	○平成27年度生活交通確保維持改善計画(フィーダー系統:形原地区支線バス)の策定・交通会議にて承認
平成27年7月	○形原地区支線バスの試験運行に切り替え(交通会議にて継続事業として承認)

②地域公共交通に関する具体的取り組み及びそのプロセス(Do)

形原地区地域公共交通協議会の活動経過

◎協議会運営

- ・地域の区長、PTA、老人会他、地域関係者からなる協議会が設置される。
- ・協議会運営は、住民主導で運営され、市職員は、運営支援の立場で参画。
- ・協議会で支線バスの事業計画案が作成され、市公共交通会議に提案される。交通会議にて承認され、試験運行化。

◎広報周知活動

- ・広報周知活動として、市と協力して時刻表(右資料)を作成。
- ・広報を通して全戸配布される。
- ・毎月発行、配布される「形原公民館だより」へ事業概要を掲載。
- ・名鉄西尾・蒲郡線利用促進大会での周知活動。
- ・高齢者が主な利用者になると考え、長寿会・民生児童委員定例会議での役員による事前説明、意見交換の実施など、考えられる広報周知活動が実施される。

時刻表											
左回り						右回り					
停留所名	第1車	第2車	第3車	停留所名	第1車	第2車	第3車				
形原公民館	8:20	10:05	14:05	形原公民館	9:25	12:15	15:25				
春日浦島住宅	8:21	10:06	14:06	蒲郡形原支店前	9:37	12:17	15:27				
北浜海岸入口	8:22	10:07	14:07	名鉄形原駅	9:40	12:20	15:30				
北浜市営住宅	8:23	10:08	14:08	下巻羽	9:41	12:21	15:31				
前野口	8:26	11:01	14:11	サンカイ前	9:42	12:22	15:32				
市川海神前	8:27	11:02	14:12	東戸南井	9:44	12:24	15:34				
名鉄三河蒲島駅	8:28	11:03	14:13	東上松	9:47	12:27	15:37				
形原公民館	8:31	11:06	14:16	しあわせ会館口	9:48	12:28	15:38				
宝壽神社前	8:33	11:08	14:18	Aコープ形原店	9:52	12:32	15:42				
宝壽神社前	8:35	11:10	14:20	東中田	9:53	12:33	15:43				
宝壽神社前	8:37	11:12	14:22	ユトリーナ	9:58	12:38	15:48				
宝壽神社前	8:38	11:13	14:23	形原神社	10:01	12:41	15:51				
宝壽神社前	8:40	11:15	14:25	森 野音	10:02	12:42	15:52				
宝壽神社前	8:42	11:17	14:27	形中大島前	10:04	12:44	15:54				
宝壽神社前	8:44	11:19	14:29	あおぼ内科前	10:05	12:45	15:55				
宝壽神社前	8:46	11:21	14:31	出口	10:07	12:47	15:57				
宝壽神社前	8:48	11:23	14:33	大門	10:08	12:48	15:58				
宝壽神社前	8:50	11:25	14:35	形原温泉	10:12	12:52	16:02				
宝壽神社前	8:52	11:27	14:37	宝壽神社前	10:14	12:54	16:04				
宝壽神社前	8:54	11:29	14:39	一色	10:15	12:55	16:05				
宝壽神社前	8:56	11:31	14:41	宝壽神社前	10:17	12:57	16:07				
宝壽神社前	8:58	11:33	14:43	宝壽神社前	10:21	13:01	16:11				
宝壽神社前	8:59	11:34	14:44	名鉄三河蒲島駅	10:25	13:05	16:15				
宝壽神社前	9:00	11:35	14:45	市川海神前	10:26	13:06	16:16				
宝壽神社前	9:03	11:42	14:52	前野口	10:27	13:07	16:17				
宝壽神社前	9:05	11:44	14:54	北浜市営住宅	10:30	13:10	16:20				
宝壽神社前	9:06	11:45	14:55	北浜海岸入口	10:31	13:11	16:21				
宝壽神社前	9:07	11:46	14:56	春日浦島住宅	10:32	13:12	16:22				
宝壽神社前	9:08	11:47	14:57	形原公民館	10:35	13:15	16:25				
宝壽神社前	9:11	11:50	15:00								
宝壽神社前	9:13	11:52	15:02								

※ユトリーナは開館時間にあわせて發出

形原地区地域公共交通協議会の活動風景

協議会での協議風景(住民主導の会)



H27.4.2 出発式前の安全祈願



H27.4.2 出発式 会長等によるテープカット



④自己評価から得られた課題とその対応(Action)

◎自己評価と得られた課題

- ・形原地区支線バスは、平成27年4月2日に試験運行を開始しているが、その事業前後において、地域主導の利用促進策が展開されている。
- ・形原地区住民における事業の認知度を高めるため、各種周知活動に加えて、「ロゴ・愛称募集」が行われ「あじさいくるりんバス」という名付けが行われている。
- ・4/2の試験運行開始時期には、「一度乗ってみよう」という協議会関係者等による口コミで、月平均利用者数の1.5倍の利用実績がみられるなど、順調なスタートが実施できた。
- ・事業継続の判断は、2カ月が経過した段階で、「市地域公共交通総合連携計画」において事業評価指標として定めていた「利用者数」などから事業継続してよいと判断した。
- ・現時点では、早急に改善すべき事項はない(大きな課題がない)と判断し、事業継続することとした。

◎自己評価をふまえた地域の取組対応＝「あじさいくるりんバス」便利表の作成等

- ・自己評価から、事業継続について交通会議にて承認しつつ、形原地区地域交通協議会としては、利用促進対策の実施を協議し、右に示す「あじさいくるりんバス」便利表を作成し、地域住民に周知する活動などを行っている。

形原地区地域交通協議会で作成した利用促進グッズ

みんなの「あじさいくるりんバス」便利表

区分	目的地	徒歩	バス
公共施設	蒲郡文化広場 4分	Aコープ形原店	蒲信形原支店 2分
	形原郵便局 3分	形中大丸屋	西信形原支店 1分
	かたはら児童館 1分	形原神社	JA形原支店 1分
	ユトリーナ 1分	ユトリーナ	形原通信 1分
	形原魚市場 9分	東戸鹿井	サンカイ前 1分
医療	石原内科 2分	形原公民館	蒲信形原支店前 1分
	養歯科 3分	形原公民館	北浜市営住宅 5分
	さくら皮膚科 1分	前野口	JA形原支店 1分
	市川歯科分院 3分	前野口	形原通信 1分
	天神接骨院 2分	前野口	サンカイ前 1分
	あおば内科 3分	あおば内科前	春日浦公園 3分
	福吉歯科医院 3分	形中大丸屋	北浜公園 1分
	平野内科 4分	形中大丸屋	北浜海岸入口 1分
	＃ 2分	蒲信形原支店前	双木山公園 5分
	利松クリニック 2分	Aコープ形原店	神社
	トリエクリニック 2分	サンカイ前	岩上神社 3分
	かたはら接骨院 3分	上音羽・下音羽	宝善神社 3分
	浦井歯科医院 4分	名鉄加那駅	形原神社 3分
			形原神社 5分
			清遠神社 2分
			秋葉神社 2分
			上音羽・下音羽
			お寺
			林光寺 3分
			宗徳寺 3分
			一色 3分
			補陀寺 3分
			妙慶寺 2分
			形中大丸屋 3分
			真如寺 3分
			しあわせ堂館口 5分
			美相院 3分
			利光院 5分
			サンカイ前

お問い合わせ先: 蒲郡市交通係 0564-11-1564

お問い合わせ先: 株式会社加那一音羽 0564-331162

お問い合わせ先: 形原地区公共交通協議会 形原公民館内 0564-254606

⑤アピールポイント(特に工夫した点)

◎地域主導による事業推進

- ・交通空白地域の解消のためのフィーダ一路線の構築にあたっては、行政主導では事業継続が難しいと判断していたため、地域参画を重要視した。形原地区地域交通協議会は、地域主体で組成された組織で、地域からの申し出、地域主導により、フィーダ一路線の事業構築・利用促進等を進めている。
- ・この結果、形原地区地域交通協議会は、愛知県が推進している「平成27年度エコモビリティライフ推進表彰団体」として選定されている。

◎民間路線バスの交通ネットワークの確保のための「協議組織の組成」

- ・蒲郡市では、バス交通は民間路線バスにて運営されているが、公共交通ネットワークの確保を行うため、地域住民とバス事業者が参加する「地域バス協議会」を設置している。当該組織により、民間路線バスの利用増加を図るために、住民目線での路線変更等に対する意見交換を行っている。交通事業者側では、これら意見を反映した、路線・ダイヤ見直しを行っている。

◎公共交通事業推進のための「指針構築」

- ・蒲郡市では、地域公共交通事業の適切な推進を行うため、地域住民、交通事業者等からなる「地域公共交通関係検討委員会」を組成し、「関係者の役割分担」、「地域公共交通の事業評価方法」、「利用促進対策」について、関係者の「行動指針」の策定に向けた検討を行っている。
- ・平成26年度には事務局にて原案作成に着手し、平成27年度に委員会を組成し、協議開始した。今年度中に、市交通会議にて「指針」を承認し、関係者間で「行動指針」を共有する予定である。

愛知県エコモビ推進表彰団体の表彰式の風景

